

## 横地分類(改訂大島分類)

「移動機能」、「知能」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表示する。

例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

| ＜知能レベル＞   |    |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|----|
| E6  | E5 | E4 | E3 | E2 | E1 |
| D6  | D5 | D4 | D3 | D2 | D1 |
| C6  | C5 | C4 | C3 | C2 | C1 |
| B6  | B5 | B4 | B3 | B2 | B1 |
| A6  | A5 | A4 | A3 | A2 | A1 |
| 戸 室 室 座 寝 寝<br>外 内 内 位 返 返<br>歩 歩 移 保 返 返<br>行 行 動 持 可 不 可<br>可 可 可 可 可 可 |    |    |    |    |    |
| ＜移動機能レベル＞   |    |    |    |    |    |

簡単な計算可  
簡単な文字・数字の理解可  
簡単な色・数の理解可  
簡単な言語理解可  
言語理解不可

＜特記事項＞  
C:有意な眼瞼運動なし  
B:盲  
D:難聴  
U:両上肢機能全廃

遅滞しているところがあるかないかを判断するのは至難の業です。現実的には、非言語的側面のみを評価して全体の知能を想像するしかありません。そうして、遅滞があると判断されたら、その領域の発達を促していかなければなりません。その際、ろう文化を否定すべきではなく、推奨すべきでしょう。受容しやすい視覚的情報を工夫し、手話を導入すべきということです。

聾者のろう文化に相当するものは、重度知的障害にもあるかもしれませんが。特定の領

### はるかの 日常生活紹介 原 めぐみ

域的知的機能が生まれつき障害されていると、それに代わる機能が通常以上に発達し、健康者とは違う内的世界を創っていることもありえます。重症心身障害と関わるには、こうした点にも気をつけなければならぬと思います。

はるか利用者は27名(横地分類A1が16名、A2が1名、A4が2名、B1が1名、B

2が1名、B3が1名、B4が1名、B5が1名、B6が1名、C1が1名、C4が1名)が生活しているゾーンです。利用者ひとりひとりに合った内容で活動を提供しています。

Aさん(横地分類A1)は職員の動きをよく見ています。日常生活の場面で起き上がりこぼしを提供すると、その動きが面白いのかじっと見て笑います。

日常生活では、動きや色の変化があるレインボースプリングが楽しめると考え提供しています。レインボースプリングをAさんの顔の前で見せると、それまで職員を見ていた視線がスプリングに向けられます。下に置いたスプリングを伸ばしていくと、体の動きを止め真剣な表情でその動きに合わせ視線が上いき、伸ばした状態で止めると上の方をじっと見ています。スプリングをゆっくり縮めていく時も同様にスプリングをよく見えています。スプリングを閉じ、しばらく間をおいてまた伸ばし始めると笑顔になります。スプリングの形が変化していく様子を見て楽しみ、もっと見たいという気持ちの高まりが感じられました。

Bさん(横地分類A1-B)は、職員の語りかけの声をよ

く聞いています。レインスティックや木琴の音に意識を向け、じっと聞いている様子がみられます。お手玉をBさんの手の近くに置くとギュッと握ったり離したりを繰り返していました。小豆の入ったお手玉の感触を楽しんでいるようでした。

そこで、小豆を使用した活動を行うことにしました。職員が小豆を缶の蓋の上にパラパラと一粒ずつ落とす音をじっと動き止めて集中して聞いています。小豆を缶の中でガラガラとかき混ぜる賑やかな音ではよく笑っています。小豆が混ざる賑やかな音があることで、一粒一粒の豆が落ちる音を、より集中して聞いている様子が感じられました。また、小豆をBさんの手に落とすとして、自ら缶に入った小豆の中に手を入れ、握ったり、落としたりします。自分が落とした小豆で音が出るという笑顔も見られます。手を動かすことによって出る音や、手に当たる感触も楽しんでいくようです。

はるかの利用者の障害像は横地分類A1からC4と幅が広いですが、ひとりひとりに沿った利用者理解をもとに、より利用者の気持ちが高まり、満足のできる活動を提供していきたいと思えます。

### うららの 日常生活紹介 和田 彰

うららは、入所者17名(横地分類A3が3名、A4が6名、A5が2名、A6が1名、B4が2名、B5が2名、C4が1名)のゾーンです。日常生活ではひとりひとりがより充実した時間を過ごせるよう考え、提供しています。

Aさん(横地分類A4)は、ミニカーを走らせると目で追って見る様子があります。そのため日常生活では、リズムカールに動くペンの動きや描かれていく線を見ることで楽しめると考えました。画用紙にペンで一本の線をゆっくり描いたり、ギザギザ線や円を「ギザギザギザ」「ぐるぐるぐる

